

一般質問

市民クラブ

行財政改革

問 職員定数削減と人件費の抑制策によるこれまでの行財政改革により、市自らが不安定な雇用を作り出している。このことが景気や雇用、可処分所得にもたらした影響等の総括を行い、新たな行財政改革プラン策定に取り組むべきと考えるが、これまでの検証及び新たな行財政改革プラン策定の基本的な考え方を伺いたい。

答 第4次行政改革では、業務の民間委託、指定管理者制度の導入、職員給与制度の適正化等に努めてきた。現在の行財政改革プランでは、職員数や経費の削減とあわせて、市民サービスの向上や事務効率化等による業務の質の向上に努めてきている。



▲市民課の窓口業務の一部を業務委託

2月定例会では、2月25日から27日までと、3月2日の4日間にわたり、16人による個人質問が行われました。

平成28年度からの新たな行財政改革プランでは、引き続き経費の削減に向けた取り組みと、削減された経費や職員を新たな行政課題への対応等に充てるとともに、市民サービスや業務の質を向上させる取り組みを進める。

斜面市街地における 車みち整備事業

問 車が行けない斜面市街地の現状を指摘し、道路の整備について訴えてき

たが、車みち整備事業が始まり喜んでいる。当該事業の適地調査の結果についてお尋ねしたい。

答 平成26年度には、斜面市街地にある全ての市道の現地調査を行い、また、地域住民からの要望等を踏まえ、車みちの整備計画を策定した。

計画の概要としては、整備候補箇所は、斜面市街地内の市道22箇所、整備延長は約3千メートルで、全体事業費は、およそ10億円程度を見込んでいる。また、事業期間は、地域住民の高齢化等が進む中、早期整備が望まれることから、平成27年度から平成30年度までの4年間で、整備を行うことを目標としている。



▲車みち整備事業の事例(西山1丁目)

保育所入所問題

問 市長は、施政方針の中で、平成27年4月時点での待機児童ゼロを明言したが、待機児童の解消に向けては、更に加速して取り組む必要があると考え。市長の考えを伺いたい。

答 平成27年4月からの「子ども・子育て支援新制度」の実施にあたり、教育・保育の提供区域ごとに提供体制の確保の内容を定める事業計画を策定することとしている。その中で、保育の供給が著しく不足している区域については、現在行っている既存保育所の施設整備や、幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行を更に進めるとともに、保育所等の新設についても働きかけることとしている。今後とも、状況を見て計画を前倒しするなど、待機児童の解消に努め、安心できる子育て環境をつくらせていきたい。

